

メジロとランチ♪2015年度結果報告

NPO 法人バードリサーチ 堀江明香

今年度もメジロのさえずり調査、「メジロとランチ♪」プロジェクトにご参加、ご協力、ありがとうございました。この調査の目的は、異なる地域に棲むメジロたちの子育て戦略の違いを探ることです。繁殖期、特に卵を生む前や抱卵期には、メジロたちは朝夕だけでなく、お昼にも活発にさえずりを行うので、ランチタイムを中心にメジロのさえずり状況をご報告頂くことで、大体の繁殖期をみなさまと一緒に探っていけたらと思っています。

個人的な事情なのですが、PC作業ができない状況が長く続き、結果報告が大変遅くなってしまいました。調査シーズンに入ってからのご報告で大変申し訳ありませんが、2015年度の結果についてご報告致します。今回の調査では、初鳴き調査：34名から37地点の情報、メジロとランチ♪：29名から266件の情報が得られました。みなさま、ありがとうございました。

■初鳴き調査

2015年の初さえずり時期の結果は以下のようにになりました(図1)。昨年までと同じく、南の方が早くさえずる傾向があります。特徴としては、関東地方など、太平洋側の地域では早くからさえずり始めることが挙げられます。太平洋側の方が早く暖くなることから、気温が直接的に影響しているように思います。

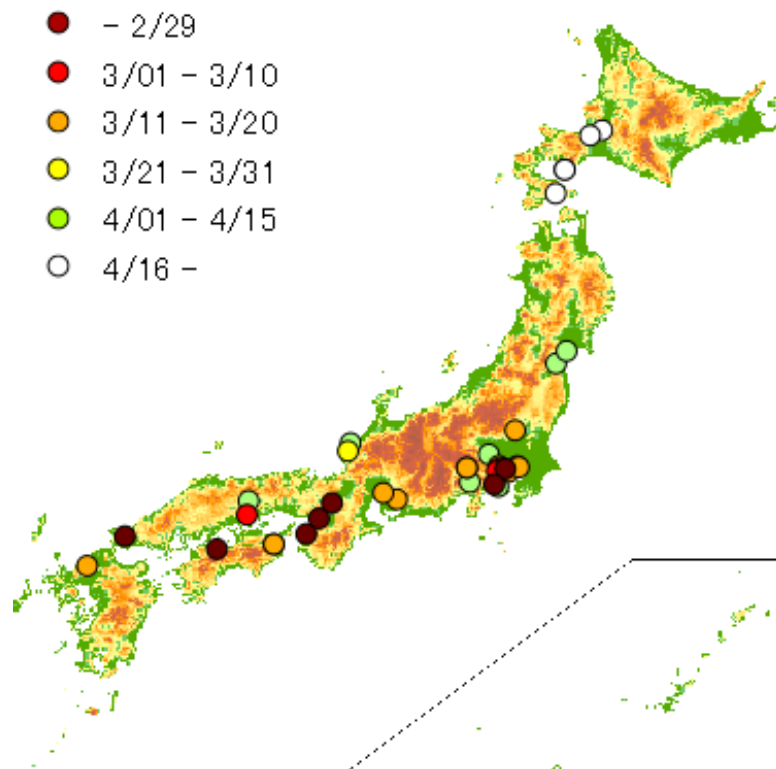


図1：初さえずり時期のご報告結果

■メジロとランチ♪：地域ごとの繁殖ピークが何となく見えてきた

調査を開始した 2013 年から 2015 年度までのメジロとランチ♪のデータを合わせて解析してみると、以下のような傾向が分かりました。まず、お昼（11～13 時）のさえずりの傾向を見てみると図 2 のようになりました。中部・関東・近畿地方では、3-4 月あたりと 6-7 月あたりの両方でさえずりが活発になっており、中国地方では 5-6 月がピークになっているように見えます。お昼のさえずりだけだとデータ数に限りがあるので、全時間帯のデータを合わせたものを見てみると図 3 のようになりました。やはり、中部・関東・近畿地方では 3-4 月と 7 月に明確なさえずりのピークがあり、中国地方では 5-6 月に最もよくさえずっていました。そして、北海道では季節と共にさえずりが増えていき、6-7 月に最もよくさえずっていました。さえずりのみから、子育ての回数等を正確に知ることはできませんが、少なくとも中部・関東・近畿では、春と初夏に、2 回の繁殖ピークがあるようです。そして、緯度としてはこれらの地域とあまり変わらないのに、中国地方では晩春に 1 回の繁殖ピークがある可能性が考えられました。中国地方は季節が進まないと気温が上がってきにくいことから、メジロたちの子育て時期は、生息している場所の気温に強く影響を受けているようでした。メジロが夏鳥である北海道では、さえずり始めも 4 月中旬以降で、子育てピークは 6-7 月のようです。

関東・中部・近畿・中国地方以外の地域からのデータはやはり少なく、お昼のさえずりの強さに季節的な変化があるのかどうか、3 年間のデータを合わせても見る事ができていません。ぜひ、さらなるご協力をお願い致します！

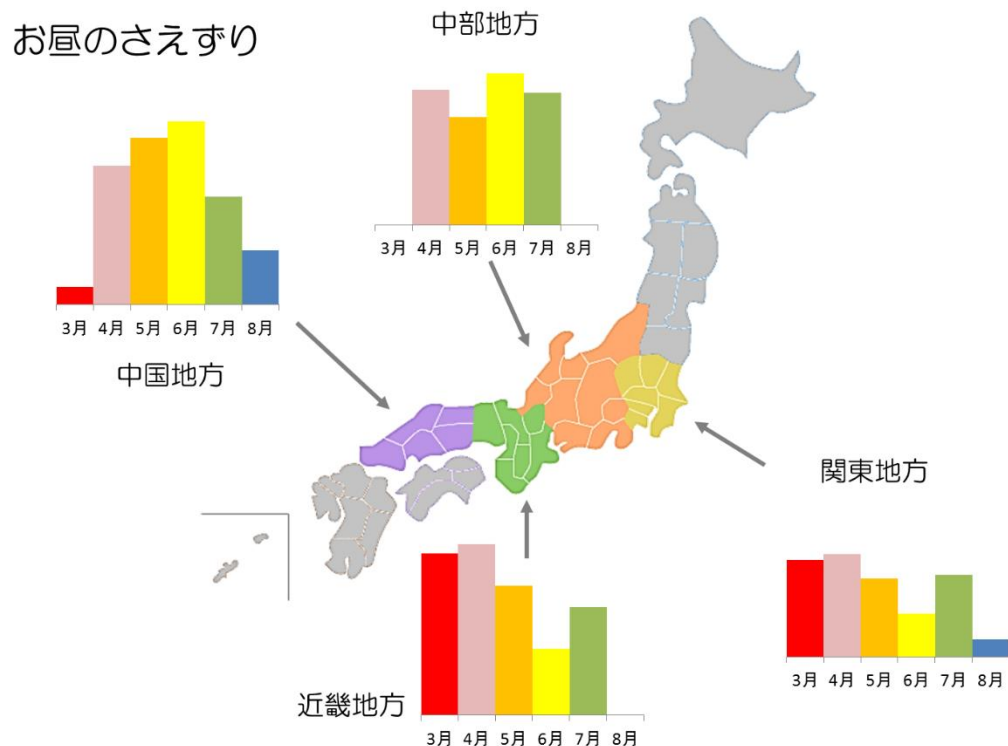


図 3：地方ごとに示した、お昼のさえずり状況の季節変化

さえずりの状況（なし・短時間・何度も・ずっと）から計算した、相対的なさえずり頻度を棒グラフの高さで、バーの色は月の違いを表しています。さえずり頻度は 2 回以上のご報告があった月から算出し、2 ヶ月分以上の結果があった地方だけを図示。棒グラフが表示されていない月はご報告がなかったために傾向が分からないことを示しています。

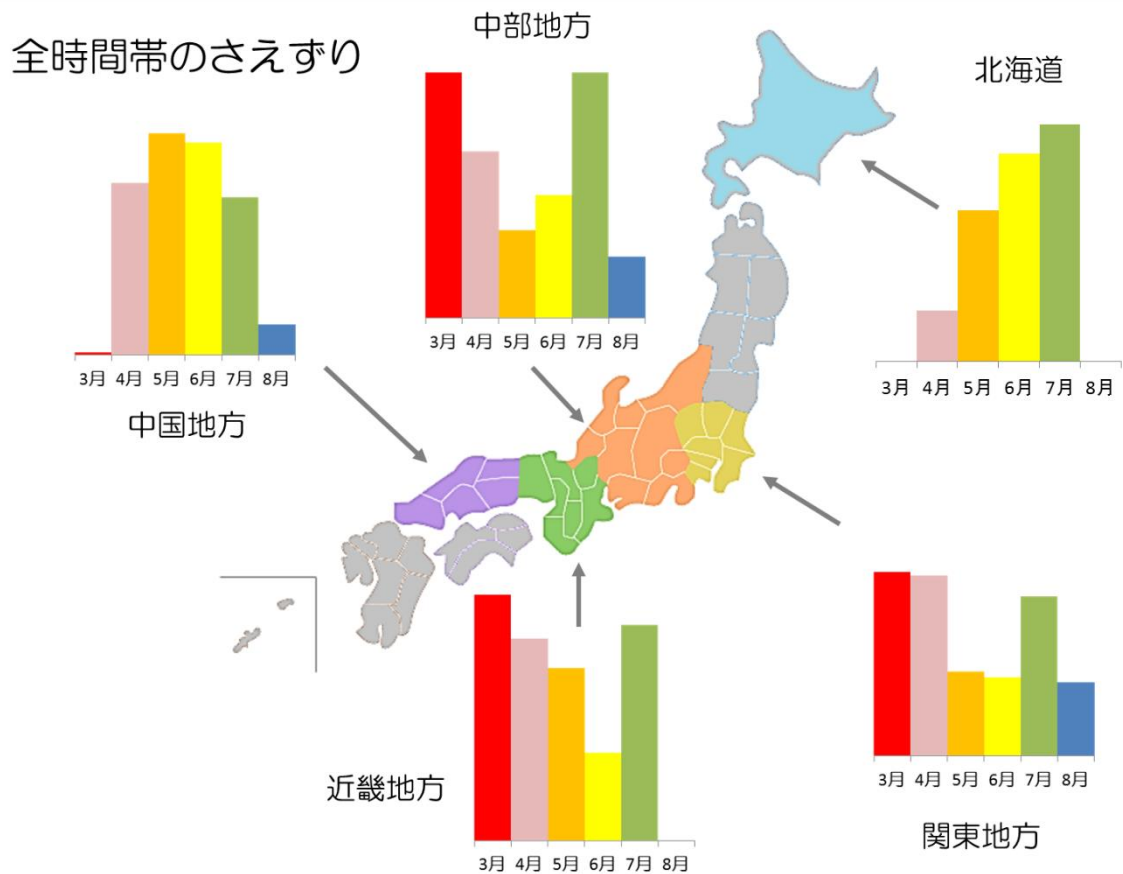


図4：全ての時間帯のデータを用いて地域ごとに示した、さえずり状況の季節変化

さえずりの状況（なし・短時間・何度も・ずっと）から計算した、相対的なさえずり頻度を棒グラフの高さで、バーの色は月の違いを表しています。さえずり頻度は2回以上のご報告があった月から算出し、2ヶ月分以上の結果があった地方だけを図示。棒グラフが表示されていない月はご報告がなかったために傾向が分からないことを示しています。

みなさまからのデータで、メジロたちの子育ての様子はかなり分かってきました。データが少ない地域からさらなる情報が入れば、全国的な傾向も見えてくると思います。2016年度も調査へのご協力をどうぞよろしくお願い致します！